



おやま 商工会だより

発行所 小山町商工会
 小山町小山96-2
 TEL (0550) 76-1100

印刷所 (株)エビス印刷
 小山町菅沼
 TEL (0550) 76-3333

年頭にあたって

会長 米山 享雄



明けまして、おめでとう御座います。会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、前年の日本経済は、大企業を中心に景気は回復しているものの、地域の経済は、回復を実感するまでには至らず、まだまだ厳しい状況でした。本年は、前半、原油、原材料価格の高止まり、米国経済の減速等、懸念材料があり、日本経済の変調がみられるが、後半には、弱含みながら回復を維持するものと思われまます。

地域としては、本年も世界的な自動車レースF1が開催され、前年の経験を生かして、商工会F1委員会を中心に、地元の商業活性化につとめ、また富士山文化遺産の指定、富士山空港の開港、動く広告塔の富士山ナンバーの採用、第二東名の開通等、近い将来実現する幾つかの施策があり、活発な人々の交流が見込まれます。

商工会の組織財政委員会では、会員組織率の増強を図り、財政基盤の強化のため、自己財源率を上げることを推進し、各種部会、委員会などは、町内のそれぞれの大会に積極的に参加・協力し、積極的に出店し経済効果を上げ、また検討、研究し実行するつもりです。地域の特産品の掘り起こしをはかり、ブランド推奨品として、町内の産業の後押しを図って行き、経済団体として、住みよい町づくり、地域活性化を積極的に推進し、その役目を遂行していきたいと思ひます。

会員の皆様には輝かしい発展の年となりますよう、また商工会にご支援ご協力をお願い申し上げます。

小山町F1協力会がミニ講演会を開催

F1は自動車のオリンピック

小山町F1協力会は、昨年十一月二十八日に「2008F1開催準備会」を開催し、次回のF1開催に向けて、F1とは何かを理解する目的で、ミニ講演会を開催しました。

町や商工会・観光協会・町民有志・富士S.Wなど三十余名が出席し、今回のF1開催の結果を基に、外国でのF1開催の実情を知り、今後の取り組みにどう活かしていくかを学びました。講演会のテーマは「諸外国でのF1開催の実情について」で、小山町用沢のフォーミュラ・ニッポンのチームノバ総監督でF1の解説者でも有名なノバ・エンジニアリング株取締役の森脇基基氏が講演を行いました。講演内容の要点は以下の通り。

F1レースは自動車のオリンピックのようなもの。この世界的なイベントを活用して地元の活性化に結びつけて欲しい。諸外国のレースは、どこも会場周辺はひどい渋滞、通常の三倍程度の渋滞はあたり前のこと。マイカー利権者が大半で、混雑も一つの文化となっていて、楽しむ余裕がある。地元



は年に三日のお祭りという認識がある。渋滞は金曜日が酷く、土日の入場時は酷い渋滞は起こらない。金曜日に到着し、その後はそこを基点に行動する為。

今回のFSWへの誘導看板は分りにくかった。諸外国でのお客は初めての方という認識があり、周辺の誘導看板等を整備している。逆に横断幕等の装飾は少ない。また今回の日本GPのようなチケット&ライドシステムを採用している国は無い。但し一部でバス輸送は有る。チケット&ライドシステムは、地元へのお金が落ちないシステムだと思ふ。地元滞留が望めないと思ふ。外国では、周辺の空き地や芝生等は駐車場にして、テントを自由に張れるようにしている。地元では水や食料品等の用意が主であり、大規模なものでなしのイベントは殆どない。観客は最初から徒歩ということを知っている。最初は、一時間程度の歩きは苦にならないと思ふ。シャトルバスでの移動は自由を束縛されるので、我慢できない人の方が多と思う。また、今回のようにシャトルバスでの輸送はレース開催時刻・公共交通機関の発着時間等の調整が難しく、時間遅れの問題も出てくる可能性が大きい。日本の中では、F1開催は一企業の営利のためという理解が大半なので、なかなか地元の理解が得にくい部分があるかもしれない。

そこで森脇氏の提案は、諸外国では会場周辺の駐車場の確保に成功しているが、小山町でも会場周辺(概ね会場から4km以内)の駐車場を町かFSWが借上げ、指定駐車場から会場までのバスを運行してはどうか。会場周辺を一方通行にするなどの手段をとればいいのではないか。その上でバスを一方

向に流せるようにしてはどうか。また、徒歩入場を可能にして、町内滞留と回遊を考えてはどうか、何れにしても、今回の結果を整理して、小山町らしい地元対応と環境づくりを考えて活性化に結び付けて欲しいとありました。

確定申告のお知らせ

確定申告の税務署受付が二月十八日(月)より始まります。

商工会では会員の皆様はスムーズに申告が済まされるよう決算指導を行っております。個別の指導にて行いますので事前に連絡を必要とします。

税務署への提出も随時行っておりますのでご利用ください。

◎提出期限

所得税→三月十七日(月)
 振替日……四月二十二日(火)
 消費税→三月三十一日(月)
 振替日……四月二十四日(木)

ネット de 記帳

ネットde記帳を使うと……

1. わずかな時間の記帳でOK
2. 確定申告、節税に有利
3. わずかな経費でたくさんのデータ

～お問い合わせは、いつも身近な商工会へ～

青年・女性部ニュース

No.52

部員数
青年部 27
女性部 137

産業祭

十一月十一日に総合文化会館に於いて開催された産業祭に、本年度も出店した。青年部からは恒例となったフアフア、射的、スーパードールすくいを行った。好天に恵まれ、多くの子供たちが参加して会場は大いに賑わった。

金時山・足柄峠DE初日の出

元旦に開催された金時山・足柄峠DE初日の出祈念事業に初めて参加した。部員七名、家族三名の計十名が金時山に登り、登山客に記念バッチを配布した。集合時間が朝四時十五分というハードスケジュールであったが、初日の出が拝め、気持ちも新たに一年のスタートを切ることができた。



新年会

一月二十五日、旅館扇屋に於いて新年会を行った。冒頭塚本佳雅部長(株塚本薬局)より、前年の事業協力御礼と引き続き事業協力依頼の挨拶がなされた。今回はOBを招待し情報交換を行い、また様々なアドバイスをいただき、有意義な会合となった。

東京へ行ってきました

齊藤八重子

十月二十三日、例年になく盛り沢山のスケジュールにバスの中は大騒ぎで女性部員三十三名の一日が始まりました。

築地では、早朝にもかかわらず、何処から人が集まってくるのかと思う程の買い物客に、小山町の商店街が、ふと頭に浮び淋しさを感ずりました。

本日の目的、帝国劇場です。役者さんとも目が合う程の最高の席でミュージカルのすばらしさに、五感の全てに刺激を味わった三時間でした。

最後は、東京ミッドタウンです。私は二回目でしたので、冒険心を出して、足柄地区の仲間と、最上階まで行ってみよう!!と、エレベーターを捜しました。最上階に降りると、まるで別世界、スニーカーにリュック姿が少し恥ずかしい!!が、足柄金時の肝っ玉案内された席は、下界のよく見える

角席で、メニューのコーヒーマットで三千九百円に目玉がギョー、接客係の方が「二人で一つでいかがですか?」と言ってくれました。その言葉は、私達の評価だったのでしょか?

下界にネオンが光り、おとぎの国に居るような気分と、お花のように飾られた小さなケーキと、コーヒーマットの嗜好品を興味深く試し、三千九百円の価値を十分に勝ち取ったと思える生きた研修でした。

帰路の車中では、おとぎの国の出来事で笑いを誘い、少し誇らしい気分を味わいました。有意義な一日であった事を感謝します。

第二十七回小山町ふれあい広場 約五千人で賑わう

産業祭に二十九店舗が出店

小山町ふれあい広場が、十一月十一日(日)小山町総合文化会館で開催され、約五千人の町民の皆さんが訪れ賑わいました。

毎年開催されるこの産業祭は、二十七日目小山町社会福祉協議会の福祉まつりとの同時開催となり、町民の皆さんも毎年楽しみにしているイベントの一つ。

産業祭は商工会の商工まつりとして、商・工・サービス観光部や青年部・女性部が参加店を取りまとめ、産業展と青空市に会員事業所の二十九店が出店し、商品の販売やPR・サービスに努め、また建設業協会や建具組合家具は、展示や木工教室のコーナーを設けるなど、商工業のアピールに努めました。

また法人会や青色申告会の両小山支部では、税に関するアンケートやクイズなどを行い税務申告のPRを行いました。

当日は、天候にも恵まれ、開会となる午前九時半前から多くの方が来場され、出店者は販売・接客に追われ、ステージでも多彩なイベントが催されるなど、終始会場は賑わいました。



ユニバーサル技能五輪大会が盛大に開催!!

第三十九回技能五輪大会が、沼津市門池競技場で十一月十四日(水)～十八日(日)開催された。

この競技は、各国の予選を勝ち抜いた二十二歳以上の若者が将来の夢と出場への誇りを胸に、厳しい訓練の成果を競う職業技能の競技大会で、国際的規模と水準を持つことから「技能オリンピック」といわれている。

同時に静岡市において、第七回アピリンピックも開催され、六十三の国や地域から三千四百人余りの参加者により競技が繰り広げられた。二つの国際競技大会が同時に開催されるのは史上初めてである。

このうち、第三十九回技能五輪大会の参加国・地域・関係者及び競技参加選手は、前回のヘルシンキ大会を超えて大会史上最大の規模となった。沼津市門池の技能五輪会場では、四十八の競技で世界各国の選手の熱い戦いが四日間を通して繰り広げられた。

商工会では、役員研修の一環として十一月十六日(金)に見学を実施した。当日は、皇太子が訪れるため、交通規制が引かれ、現地周辺は厳重な警備態勢が取られていたが、幸い団体入場予約をしていたので、スムーズに会場へ向かうことができた。指定地でバスをおり、会場までの間、人が数珠繋ぎで、特に中学生や高校生等の見学が多く、人の波を避けながら途中に設置してある東部地区の商工会・会議所・観光産業等のブースの賑わいと、「もてなし」に触れ、会場にたどり着いた。

会場内は、各ブースごとに分かれて競技しており、見学者が多かったのは、菓子・飲食・理美容・デザイン・スタイルリスト・接客マナーのブースは若者が多く、製造・建設・家具・建具・建築・造園、自動車・板金関連は、関係業者が多かった。どのブースでも真剣な眼差しで競技過程や選手の表情等を見ていた。今回の見学は、競技期間の経過途中でもあり、内容によっては、完成に至らない種目も多くあったが、若者層の熱気と技術に、参加役員は感動していた。

更にこの大会では、史上初めての「選手村」が御殿場市(時の栖)に設けられ、国際大会の目的に掲げられている選手同士の国際親善や交流、地域ならではの温かい歓迎やもてなしなど、選手や大会関係者が地域住民と直接ふれあい、交流できる大会であった。また県では、東部・伊豆地域を訪れる内外の選手、関係者を温かくもてなし、交流の機会と魅力を内外に発信できたと実感していた。

今回の研修に参加した役員は、関係ブースを見学し、所要三時間では見足りない現状であったが、わが町にも数多くの産業が存在しており、それぞれが技術を積み重ねて社会の一員となっていることを再確認していた。

商売に役立つ商工会の加入促進月間実施中!

商工貯蓄共済

掛金は月々1口2,000円

加入期間は10年間

貯蓄 + 融資 + 生命保険 と3つの機能

静岡県商工会連合会 小山町商工会